ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

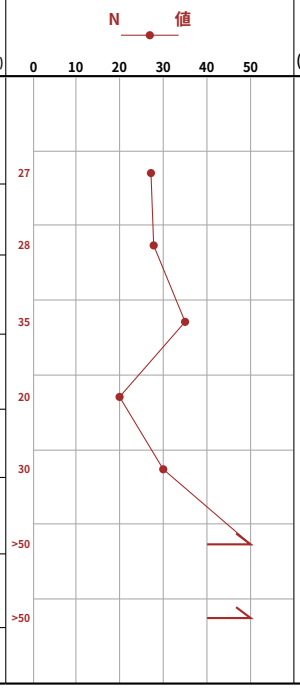
シートNO.

ボーリング名	Br.2(本線No.39+10L10)	調査位置				北　緯	36 ° 45 ' 05.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2009-01-21 ～ 2009-01-22	東　経	140 ° 08 ' 10.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	104.25 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	7.38 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	103.75	0.50	0.50		シルト質微細砂 (FSM)	黒褐			耕作土である 含水低位 若干の粘性を帯びる		
1 2 3 4 5	99.00	4.75	5.25		砂礫 (GS)	暗褐	中ぐらい		径φ5～30mmの亜円礫～亜角礫を主体とする 最大径はφ100mm程度 マトリックスは砂で充填される 締まり具合は中位で部分的にルーズである 深度4.0m付近より所々で逸水する 下部はやや凝灰質を呈する		01/22 2.45
6 7	96.87	2.13	7.38		館の川凝灰岩 (Tf)	黄褐～暗緑灰		非常に硬い	全体に固結した軽石凝灰岩である 部分的に風化が進み、軽石混じりの砂状を呈する 混入軽石はφ10～20mm程度である 含水は低位である		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	9	8	10	27／30	27
1.45					
2.15	7	8	8／5	23／25	28
2.40					
3.15	7	20	8	35／30	35
3.45					
4.15	6	7	7	20／30	20
4.45					
5.15	3	3／3	17	23／23	30
5.38					
6.15	20	19	11／5	50／25	>50
6.40					
7.15	20	22	8／3	50／23	>50
7.38					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		1.15	1	⊖		
		2.15	2	⊖		
		3.15	3	⊖		
		4.15	4	⊖		
		5.15	5	⊖		01/21
		6.15	6	⊖		
		7.15	7	⊖		01/22